

都市経営の基本戦略取組状況

手 法	手法実施内容	事業名	課室名	
第2章 将来を見据えた行財政運営				
第1節 行財政改革の推進と新しい発想・手法を取り入れた行財政運営				
アプローチ6 行政評価システムの構築と運用				
<p>政策・施策や事務事業について、「計画を立てて実行し、その成果を評価して次の計画に反映させる」というマネジメント・サイクルを確立し、行政資源の効率的な配分を図るとともに、評価結果の公表によって説明責任を果たすため、生活者の視点に立った成果重視の行政運営を基本的な視点とする行政評価システムを構築し、運用を行います。</p>	行政評価システムの構築と運用			
	・事務事業評価システムの運用	1644事業の評価を実施し、そのうち27事業について外部評価を行いました。今後も、行財政資源の有効配分実現のため、予算との連携を図っていきます。		総務局 改革推進室
	・政策評価システムの構築	都市経営戦略会議における「予算編成に係る集中審議」において重要政策事業を決定する過程を政策評価システムと位置づけ、「都市経営戦略会議」における集中審議を経て重要政策事業を決定しました。		政策局 都市経営戦略室
		効果測定さいたま市バージョンを作成し、その結果を分析した「学級シート」を学校、学級に配布し、学級指導に活かせるようにしました。	小・中一貫「潤いの時間」の展開	教育委員会 指導2課
	・行政評価システムと予算編成や総合振興計画の進行管理との連携	政策、改革、財政の各部門が連携して、「事務事業評価・政策評価に基づく新予算編成システム」を構築しました。		財政局 財政課
	市民との協働による行政評価			
	・行政評価システムに関する情報公開と情報提供	市民への説明責任の向上を図るため、評価表の公表を9月上旬(様式1)と3月中旬(様式2)の2段階に分け実施しました。全事務事業の評価表については各区情報公開コーナー配置するとともに外部評価を行った27事業をホームページに掲載し情報提供を行いました。		総務局 改革推進室
	・行政評価システムにおける市民との連携	学識経験者や市民公募委員による第三者評価(外部評価)を実施し、内部評価結果や事業の方向性等についての意見を求め、今後の事業推進の参考にしました。		総務局 改革推進室